

外国語活動指導案

宮古島市立南小学校
教諭 平良 優
ALT ギャーリースワン

1 日 時

平成25年2月8日(金)～2月19日(火)

2 学 級

第6学年2組(33名)

3 学級観

児童はこれまで、語彙や表現に慣れ親しむ活動やコミュニケーション活動をたくさん体験している。年度当初は、コミュニケーション活動に消極的な児童も見受けられたが、学級づくりが進むにつれて、お互いを受け入れながら、学級全体でコミュニケーションを図る姿へと変容した。本単元は、児童にとって小学校最後の単元である。思春期の入り口という時期で、劇を演じることに照れを見せることが予想される。そこで、自己目標を設定することや、振り返りの中でお互いのよさを伝え合うことにより、コミュニケーションへの意欲を高め、学級全員の力でオリジナルの劇づくりを行いたい。

4 単元名

Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends. オリジナルの劇をつくろう

5 単元観

本単元では、演じる劇として「桃太郎」を取り上げている。桃太郎は、子供たちによく知られている昔話であり、そのストーリーはこれまで児童が慣れ親しんできた語彙や表現を用いて演じることができる。そこで、児童のアイデアを生かし、これまでに慣れ親しんできた語彙や表現を「桃太郎」の各場面に設定し、学級オリジナルの「桃太郎」づくりをしたい。また、「桃太郎」を英語で演じることを通して、積極的に聞こう、伝えようとする力を育てたい。

6 単元目標

- ・積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。
- ・まとまった英語の話を聞いて、内容がわかり、場面にあったセリフを言う。
- ・世界の物語に興味をもつ。

7 単元の評価規準

- ・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。
- ・まとまった話を聞いている。
- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたと言ったりしている。
- ・世界には様々な物語があることに気付いている。

8 使用する語彙や表現

dog, monkey, bird, peach, boy, Grandpa, Grandma

We are strong and brave. We are good friends.

*その他、児童が2年間慣れ親しんできた語彙や表現の中から、児童自身で選択、設定する。

9 単元指導計画（6時間）

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	
1	<p>世界の様々な物語に興味をもつ。</p> <p>【P】「だれがかくれているか、さがそう。」</p> <p>○「保護者が子供に伝えたいお話 No.1は何でしょう？クイズ」</p> <p>○「桃太郎のお話を確認しよう。」（絵カード）</p> <p>○“Trick Repeat”</p> <p>○“Lip Reading”</p> <p>○「ドンじゃんけんゲーム」（単語編）</p> <p>【C】“We are good friends.”</p>			○	<p>・世界には様々な物語があることに気付いている。＜行動観察・振り返りカード分析＞</p>
2	<p>まとまった話を聞いてそのあらすじがわかり、様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】“We are good friends.”</p> <p>【L】「お話を聞こう。」</p> <p>○「ラッキーカードゲーム」（仲間との出会いの場面）</p> <p>【A】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p>			○	<p>・まとまった話を聞いている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
3	<p>まとまった話を聞いて、そのあらすじがわかる。</p> <p>○「桃太郎クイズ」</p> <p>【C】“We are good friends.”</p> <p>○「学級オリジナルの桃太郎を聞こう。」</p> <p>○「Who am I? クイズ」</p>			○	<p>・まとまった話を聞いている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
4 5	<p>様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】“We are good friends.” (デジタル教材「ロールプレイングスキット」視聴)</p> <p>【A】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p>			○	<p>・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
6	<p>積極的に英語を使って、考えた物語を聞こうとしたり伝えたりしようとする。</p> <p>【C】“We are good friends.”</p> <p>【A】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p>			○	<p>・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>

10 各時間の指導案

第1時

目標 世界の様々な物語に興味をもつ。

時間	児童の活動	指導者の活動		準備物
		HRT	ALT	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		
13分	<p>【Let's Play】 p. 26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面の絵にあるもので、英語で言えるものを発表する。 ・どんな登場人物や動物がいるか探して発表する。 ・英語名タイトルクイズ、3ヒントクイズ、ジェスチャークイズやデジタル教材【Let's Play】の音声を聞き、それがどの物語のことか考える。 ・大型世界地図を見て、気付いたことを発表する。（振り返りカードに気付きを書く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で言えるものを発表させる。 ・誌面の人物や動物はどの物語に出てくるか、また、その物語がどの国の物語かを尋ねる。 ・大型世界地図を見て、気付いたことを尋ねる。 ※評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面（デジタル教材）の様々なものをさし、What's this? と尋ねる。 ・その物語がどの国の物語かを尋ねる。 ・大型世界地図に、その物語名が書かれた用紙を貼る。 	デジタル教材 大型世界地図 絵本（様々な物語） 振り返りカード
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○「保護者が子供に伝えたいお話 No.1は何でしょう？クイズ」 ・0歳から12歳の保護者が我が子に伝えたいお話 No.1を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを出す。 ・「桃太郎」がなぜNo.1か、その理由を尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から出た言葉を英語で言う。（strong, brave, friends など） 	絵本（様々な物語）
3分	○「桃太郎のお話を確認しよう。」	・「桃太郎」の筋を児童と確認する。		絵カード（桃太郎場面絵）
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○“Trick Repeat” ・ALTの言う語に惑わされずに、ALTがさし示す絵カードの語を言う。 ○“Lip Reading” ・ALTの口の動きを見て、何という単語を言っているか推測して答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見ながら、ALTに指示を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で語を言う。 ・音を出さずに口だけを動かし語を言う。 	絵カード（桃太郎場面絵）
6分	○「ドンじゃんけんゲーム」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・2人でデモンストレーションをする。 ・児童の支援をする。 		絵カード（桃太郎場面絵）
4分	○桃太郎のスライドを見て、場面にあった英語を自由に言う。	・「桃太郎」は、これまで2年間慣れ親しんできた英語で展開できることを確認する。		デジタル教材
5分	<p>【Let's Chant】 “We are good friends.” p. 37</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声だけを聞く。 ・画面を見ながら音声を聞く。 ・ALTと表現を確認する。 ・デジタル教材を視聴しながらチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの表現をくり返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツの表現を絵カードで確認する。 	デジタル教材
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。 ・次の活動を知り、挨拶をする。 	・数名に本時の振り返りを発表させる。		振り返りカード

評価規準

・世界には様々な物語があることに気付いている。【気】＜行動観察・振り返りカード分析＞

第2時

目標 まとまった話を聞いてそのあらすじがわかり、様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。

時間	児童の活動	指導者の活動		準備物
		HRT	ALT	
2分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 前時の気付きを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。 前時の児童の気付きを発表し、その感想を伝える。 		振り返りカード
4分	【Let's Chant】 “We are good friends.” p. 37 <ul style="list-style-type: none"> 音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一緒にチャンツを言う。 		
4分	【Let's Listen】 p. 26 ~ 36 <ul style="list-style-type: none"> ALT の読み聞かせを聞く。 聞こえた桃太郎のセリフを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえたセリフを尋ねる。 ※評価① 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせをする。 	デジタル教材
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ラッキーカードゲーム①をする。 桃太郎が猿、犬、キジと出会う場面の表現を用いて、ラッキーカードゲームをする。 ○ラッキーカードゲーム②をする。 やりとりの最後にチャンツのメイン部分 We are strong and brave. We are good friends. を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 2人でデモンストレーションをする。 児童の支援をしながら、児童とともにラッキーカードゲームをする。 ※評価② 		絵カード（登場人物等）
20分	【Activity】 p. 37 <ul style="list-style-type: none"> 4月からの活動をデジタル教材でふり返る。 デジタル教材のチャンツを聞き、桃太郎の場面に設定できないかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで慣れ親しんできた語彙や表現を桃太郎の場面に設定することを伝える。 4月からの活動をふり返り、児童に表現を想起させる。 英語ノート1や Hi, friends! 2 の誌面、デジタル教材を活用しながら、その表現が桃太郎のどの場面で生かせそうかを考えさせる。（本時では、アイデアをメモする程度にする） 次の時間までに、休み時間等を利用してアイデアを募集すること、そのアイデアを生かし、次時までに担任とALTが学級オリジナルの桃太郎を完成することを伝える。 		これまでに使用した教材 デジタル教材
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 数名に本時の振り返りを発表させる。 		振り返りカード

評価規準

①まとまった話を聞いている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

②様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

第3時

目標 まとまった話を聞いて、そのあらすじがわかる。

時間	児童の活動	指導者の活動		準備物
		HRT	ALT	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・自分や友達が休み時間や家庭学習で取り組んだことについて確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をする。 ・これまでの活動をふり返る。 		児童の家庭学習・日記
2分	○「桃太郎クイズ」をする。		・桃太郎クイズを出す。	絵カード
3分	【Let's Chant】 “We are good friends.” p. 37 <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒にチャンツを言う。 		デジタル教材
21分	○学級オリジナルの桃太郎を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・TVのスライドを見ながら、オリジナル劇の内容を予想する。 ・TVのスライドを見ながら、どんなセリフなのか予想して言う。 ・読み聞かせを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを見せ、内容を予想させる。 ・スライドを見せ、セリフを予想させる。 ・予想したセリフを発表させる。 ※評価	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをする。 	オリジナルの桃太郎のスライド
3分	○自分の演じる役柄を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に演じる役柄を発表する。 (前もって希望調査をしておく) 		
7分	○「Who am I クイズ」 <ul style="list-style-type: none"> ・HRT や ALT の言うセリフを聞き、後について言う。そのセリフがどの登場人物のセリフなのか当てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを出す。 		
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に本時の振り返りを発表させる。 		振り返りカード

評価規準

・まとまった話を聞いている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

第4・5時

目標 様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。

<第4時>

時間	児童の活動	指導者の活動		準備物
		HRT	ALT	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		
4分	【Let's Chant】“We are good friends.” p. 37 ・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。	・一緒にチャンツを言う。		デジタル教材
5分	・めあてを言う。 ・自己目標を設定し、発表する。	・めあてを確認し、カードに自己目標を立てさせる。		振り返りカード
30分	【Activity】オリジナルの物語をつくって演じる。p. 37 ・場面別にオリジナル物語の練習をする。	・担当場面の演劇練習を指導・支援をする。 ・途中で活動を止め、自身の活動の様子をふり返らせるとともに自己目標を意識させる。 ※評価		絵カード 小道具
5分	・自己目標に対する自己評価を記入し、発表する。 ・挨拶をする。	・本時の活動をふり返る。 ・児童のよさを伝える。		振り返りカード

評価規準

- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。【慣】<行動観察・振り返りカード点検>

<第5時>

時間	児童の活動	指導者の活動		準備物
		HRT	ALT	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		
4分	【Let's Chant】“We are good friends.” p. 37 ・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。 【Let's Chant】 “Sunday, Monday, Tuesday”	・一緒にチャンツを言う。		デジタル教材
10分	・めあてを言う。 ・ロールプレイングスキットを視聴し、劇をしている様子でよいところを発表する ・自己目標を設定し、発表する。	・ロールプレイングスキットを音声のみ→映像のみで視聴させる。 ・目当てを確認し、カードに自己目標を立てさせる。		デジタル教材 振り返りカード
25分	【Activity】オリジナルの物語をつくって演じる。p. 37 ・場面別にオリジナル物語の練習をする。 ・全体練習をする。	・担当場面の演劇練習を指導・支援する。 ・途中で活動を止め、自身の活動をふり返らせるとともに自己目標を意識させる。 ※評価		絵カード（桃太郎場面絵） 小道具 BGM
5分	・自己目標に対する自己評価を記入し、発表する。 ・挨拶をする。	・本時の活動をふり返る。 ・児童のよさを伝える。		振り返りカード

評価規準

- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。【慣】<行動観察・振り返りカード点検>

第6時

目標 積極的に英語を使って、考えた物語を聞こうとしたり伝えたりしようとする。

時間	児童の活動	指導者の活動		準備物
		HRT	ALT	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		
4分	【Let's Chant】 “We are good friends.” p. 37 ・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。 【Let's Sing】 “Sunday, Monday, Tuesday”	・一緒にチャンツを言う。		デジタル教材
5分	・目当てを言う。 ・自己目標を設定する。 ・自己目標を伝え合う。	・目当てを確認し、自己目標を発表させる。		振り返りカード
30分	【Activity】 オリジナルの物語をつくって演じる。 p. 37 ・場面ごとにオリジナル劇を発表する。 ・場面ごとによさを発表する。	・児童の支援をする。 ・BGMを流す。 ・発表でよかったところを伝える。 ※評価	・児童の支援をする。 ・発表でよかったところを伝える。	小道具
5分	・自己目標に対する自己評価を記入し、発表する。 ・挨拶をする。	・本単元の活動をふり返る。 ・児童が相手意識をもって自分のセリフを言ったり、聞いたりしようとしたことについてよかった点を伝える。		振り返りカード

評価規準

- ・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>